

# 第1章 調査概要

# 第1章 調査概要

## 1. 調査目的

2020年(令和2年)年明けから世界規模で流行し始めた新型コロナウイルス感染症拡大については、外出自粛や休業等による生活や雇用への影響等が懸念されている。一方で、これを契機にオンラインの活用が普及することにより、男女ともに新しい働き方の可能性がもたらされているとともに、男性の家事・育児等への参画を促す好機ともなっている。

本調査は、このような状況下で男女共同参画の視点からの政策課題を把握するため、新型コロナウイルス感染症の拡大が性別によって雇用や生活等に与えている影響の違い等について、調査・分析を実施することを目的とする。

また、令和元年度の調査結果(「家事等と仕事のバランスに関する調査(2019年12月調査)」)との比較も行う。

※委託調査名は「令和2年度 男女共同参画の視点からの新型コロナウイルス感染症対策に関する調査」であるが、報告書名は「令和2年度 男女共同参画の視点からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響等に関する調査報告書」とする。

## 2. 調査検討委員会

本調査の実施にあたっては、有識者からなる検討委員会を設置し、開催した。

### ① 構成

氏名	所属
<主査> 筒井 淳也	立命館大学 産業社会学部 教授
永井 暁子	日本女子大学 人間社会学部 准教授 家族・家計経済研究 センター長
池田 心豪	独立行政法人労働政策研究・研修機構 主任研究員

### ② 開催実績

回	日時	主な課題
第1回	令和2年11月24日(火)	・調査計画について ・調査票について
第2回	令和2年12月16日(水)	・調査結果(集計速報値)について ・分析方針について ・中間報告書の作成について
第3回	令和3年2月10日(水)	・調査結果について ・今後の分析、報告書の作成について

### 3. モニター調査 調査事項

調査項目、設問項目一覧は以下のとおりである。

#### ① 設問項目一覧

##### 【スクリーニング調査】

本人	配偶者	項目	設問文
F1	-	性別	あなたの性別をお知らせください。
F2	AQ46	年齢	あなたの年齢をお知らせください。
F3	-	居住地	あなたのお住まいの都道府県をお知らせください。
Q1	-	婚姻状況	現在、結婚相手(配偶者)がいますか。
Q2	-	同居者の有無	現在、同居している方がいますか。
Q3	-	同居している末子年齢	現在同居しているお子様について、最も年齢が低い人を教えてください。
Q4	-	同居している人と人数	一緒に生活している方はどなたですか。あてはまる方を全員選択し、その人数をお答えください。
Q5	AQ47	介護の状況	普段、ご自身は介護をしていますか。あてはまるものを全て選択してください。
Q6	AQ48	最終学歴	最後に行かれた(または現在行かれている)学校は次のどれにあたりますか。中退も卒業と同じ扱いでお答えください。
Q7	AQ49	雇用形態	あなたの職業・雇用形態について、あてはまるものを選択してください。
Q8	AQ50	自身の業種	あなたの勤務先の業種について教えてください。
Q9	AQ51	自身の職種	あなたご自身の仕事の種類について、実際にしている主な仕事の内容をお選びください。
Q10	AQ52	コロナ下でストレスを感じやすい仕事につく人	あなたご自身の仕事について、下記の内容にあてはまるかどうか教えてください。
Q11	AQ53	普段の勤務形態	現在の勤務形態について、あてはまるものを選択してください。
Q12	AQ54	勤め先の従業員数	あなたの勤め先の従業員数についてお選びください。
Q13	AQ55	勤務形態の変化 (緊急事態宣言中と現在)	2020年の4～5月(新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言中)より前の状況と、現在の状況を比べて、勤め先・仕事に変化はありましたか。
Q14	AQ56	勤め先・仕事継続意向	今後、現在の勤め先・仕事で働き続けたいと思いますか。
Q15	-	カップル調査許諾設問	あなたご自身についての内容に答えていただいた後に、配偶者の方が回答することは可能ですか。

【本調査】

本人	配偶者	項目	設問文
Q16	AQ57	片道の平均通勤時間	現在、通勤時間は平均すると片道どれぐらいですか。最も近いものを選択してください。
Q17	AQ58	居住住居の変化	新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言中(2020年4~5月)より前と現在を比べて、居住する住居に変化はありましたか。あった場合、その理由を教えてください。
Q18①	AQ59①	①個人年収(昨年度)	昨年度の①あなたご自身の個人年収と、②世帯年収について、教えてください。
Q18②	AQ59②	②世帯年収(昨年度)	①あなたご自身の収入、②世帯全体の収入について、昨年と現在を比べて変化はありましたか。最もあてはまるものを教えてください。
Q19①	AQ60①	①個人収入変化(昨年との比較)	①あなたご自身の収入、②世帯全体の収入について、昨年と現在を比べて変化はありましたか。最もあてはまるものを教えてください。
Q19②	AQ60②	②世帯収入の変化(昨年との比較)	
Q20	AQ61	自身の普段の一週間の就業時間(①緊急事態宣言前②宣言中③現在)	普段の一週間の就業時間について、①緊急事態宣言前(コロナが感染拡大する前)と、②緊急事態宣言による自粛期間中(2020年の4~5月)と、③現在について、あてはまるものを選択してください。
Q21	AQ62	自身のテレワークの頻度(①緊急事態宣言前②宣言中③現在)	①緊急事態宣言前(コロナが感染拡大する前)と、②緊急事態宣言による自粛期間中(2020年の4~5月)と、③現在について、テレワーク(在宅勤務、サテライトオフィス勤務、モバイル勤務含む)はどのぐらいの頻度でしたか。
Q22	AQ63	テレワークの継続意向	今後、あなたご自身はテレワークで働きたいと思えますか。
Q23	AQ64	配偶者のテレワーク実施経験	同居している配偶者は、緊急事態宣言中(2020年4~5月)~現在、テレワークで働いていた期間がありますか。
Q24	AQ65	テレワークを経験して感じたこと(メリット・デメリット)	テレワークを経験して・または配偶者がテレワークを経験し、あなたが感じたことについて、以下の中からあてはまるものをお選びください。
Q25	AQ66	働き方や仕事内容の変化の有無	コロナによる緊急事態宣言によって、あなたの働き方や仕事内容に変化はありましたか。
Q26	AQ67	働き方の変化の理由、要因	働き方や仕事内容に変化があった理由として、あてはまるものをお選びください。

【本調査】

本人	配偶者	項目	設問文
Q27	AQ68	1日の時間の使い方(①仕事あり ②仕事なし③普段)	現在の、普段の1日の時間配分を分単位で教えてください。
Q28	AQ69	1日の生活時間配分の満足度	1日の中での時間の使い方が、前の質問でご回答いただいたようになってきていることについて、その時間配分の総合的な満足度として、あてはまるものを選んでください。
Q29	AQ70	自身の家事実施頻度	あなたは、次のような家事をどの程度していますか。現在のそれぞれの頻度について、該当するものをお選びください。
Q30	AQ71	自身の育児実施頻度	あなたは、お子さんの世話をどの程度していますか。現在のそれぞれの頻度について、該当するものをお選びください。
Q31	AQ72	自身の介護実施頻度	あなたは、どの程度の頻度で「手助け・介護」を行っていますか。現在の「手助け・介護」のそれぞれの頻度について、該当するものをお選びください。
Q32	AQ73	1日の時間の使い方変化 (緊急事態宣言前後で比較)	緊急事態宣言中(2020年の4～5月)とそれ以前(コロナ前)で比較して、緊急事態宣言中は、あなたご自身の日の中での時間の使い方について、変化がありましたか。
Q33	AQ74	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の満足度	あなたの「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」に関し、下記の行動を行う時間の過ごし方についての満足度として、あてはまるものをそれぞれ選んでください。
Q34	AQ75	配偶者との家事分担割合	日頃、配偶者と家事の分担はどのようにしていますか。全体を100%(パーセント)とした時に、あなたは何パーセントぐらい行っているかでお答えください。
Q35	AQ76	配偶者の家事分担への満足度	配偶者の家事分担について、どの程度満足していますか。
Q36	AQ77	配偶者との育児分担割合	日頃、配偶者と育児の分担はどのようにしていますか。全体を100%(パーセント)とした時に、あなたは何パーセントぐらい行っているかでお答えください。
Q37	AQ78	配偶者の育児分担への満足度	配偶者の育児分担について、どの程度満足していますか。
Q38	AQ79	ご自身に起こったこと(不安を感じたこと)(緊急事態宣言中)	緊急事態宣言発令中(2020年4月～5月)について、あなたには次のようなことがどのぐらいありましたか。それぞれについて教えてください。
Q39	AQ80	ご自身に起こったこと(不安を感じたこと)(この1か月の間)	この1か月ほどの間に、あなたには次のようなことがどのぐらいありましたか。それぞれについて教えてください。

## 【本調査】

本人	配偶者	項目	設問文
Q40	AQ81	家事、育児へのニーズ	緊急事態宣言中(2020年4~5月)を経た今、家事・育児についてあてはまるものを教えてください。
Q41	AQ82	各種給付金受給状況	各種給付金等について、受けられたものをお答えください。
Q42	AQ83	特別定額給付金の利用者	あなたへの特別定額給付金(10万円)は、あなたご自身で使われましたか。最もあてはまるものをお答えください。
Q43	AQ84	特別定額給付金の利用用途	あなたへの特別定額給付金(10万円)は、どんな形で使われましたか。
Q44	AQ85	現在の生活全般の満足度	あなたは全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、何点ぐらいになると思いますか。いずれか1つだけ選んでください。
Q45	AQ86	現在の幸福度	現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点ぐらいになると思いますか。いずれか1つだけ選んでください。

## 4. 調査方法・手順

調査方法	・インターネット・モニターに対するアンケート調査 (株式会社マーケティング・アプリケーションズの登録モニターが対象) ※回答モニターは令和元年度調査とは異なるモニターであり、パネル調査ではない
調査名	暮らしに関する調査
調査手順	回答者のうち、配偶者がいる方については、「回答モニターの配偶者」にも回答を依頼した。

## 5. 調査期間

インターネット・モニター に対するアンケート調査	令和2年11月30日(月)~12月11日(金)
-----------------------------	-------------------------

## 6. 調査対象

調査対象	国内在住のインターネット・モニター(20歳以上70歳未満)およびその配偶者 ※ただし、「回答者モニターの配偶者」の年齢については、その限りではない。
------	---



## 8. 報告書内で使用する用語、定義

本調査で使用する用語		本調査で用いた定義
世帯類型	夫婦のみ世帯	世帯主とその配偶者のみで構成する世帯。本調査では、回答者とその配偶者。
	夫婦と子供から成る世帯	夫婦と未婚の子のみで構成する世帯。
	ひとり親世帯(男親もしくは女親と子供から成る世帯)	片親と子供のみからなる世帯。同居する子供は何歳でも良い(20歳以上でも対象)、他に祖父母など子供以外と同居していたら該当しない、対象者が既婚でも対象。 ※令和元年度の調査の場合は、同居人に配偶者や(子供から見た)祖父母は含まれないが、同居人に「その他」が入っていても「ひとり親」としている。
	三世帯世帯	世帯主との続き柄が、祖父母、世帯主の父母(又は世帯主の配偶者の父母)、世帯主(又は世帯主の配偶者)、子(又は子の配偶者)及び孫の直系世代のうち、三つ以上の世代が同居していることが判定可能な世帯。それ以外の世帯員がいるか否かは問わない。
	単独世帯	世帯員が一人だけ(回答者のみ)の世帯。本調査では回答者本人のみの世帯。
	その他世帯	上記以外の世帯。
	母子・父子世帯 ※再掲	片親と19歳以下の子供を含み、20歳以上の子供はいない世帯。他に祖父母などと同居していても該当するが、20歳以上の子供も同居している場合は除外。対象者は未婚もしくは離死別(既婚は除外)。
アンケート回答	本人票	アンケート回答者自身の回答を指す。
	配偶者票	アンケート回答者の配偶者が回答したものを指す。
就業状況	有業	仕事をしている人。本調査では職業・雇用形態を聞く質問について、「仕事をしている/雇用されている人」「仕事をしている/上記以外」を選択した人を指す。
	無業	仕事をしていない人。「主婦・主夫」「学生」「その他(働いていない)」を選択した人。
雇用形態	正規雇用	上記就業状況を尋ねる設問のうち、「正規の会社員・職員・従業員」「会社などの役員」を選択した人。
	非正規雇用	同設問において、「パート・アルバイト」「労働派遣事業所の派遣社員」「契約社員」「嘱託」「その他の形で雇用されている」を選択した人。
勤務形態	フルタイム	現在の勤務形態について尋ねる設問において、「フルタイムで始業時間などが固定されている」「フルタイムで始業時間などを選択できる(裁量労働、フレックスタイムなど)」「フルタイムで始業時間などが会社の都合で決められている(交代制勤務など)」のいずれかを選択した人。
	短時間勤務	同設問において、「短時間勤務」を選択した人。
配偶者の有無	有配偶	配偶者と同居している人。配偶者がいるが同居していない場合は含まない。
	無配偶	配偶者がいない人、および配偶者と別居している人。
子供の有無	小3以下の子供がいる人	未子年齢が、小学校3年生以下の子供と同居している人。それ以上の子供もいる場合を含む。
	小3以下の子供がいない人	未子年齢が小学校4年生以上の子供がいる人および子供がいない人。
介護の有無	介護対象有	介護対象者の年齢(65歳以下、65歳以上)にかかわらず、介護をしている人。
	介護対象無	介護をしていない人。
緊急事態宣言について	第一回緊急事態宣言	2020年3月13日に成立した新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく措置。全国的かつ急速なまん延により、国民生活や経済に甚大な影響を及ぼすおそれがある場合などに、総理大臣が宣言を行い、緊急的な措置を取る期間や区域を指定するもの。全国を対象としては、第一回目が2020年4月16日～5月14日に発令された。 報告書内の「第一回緊急事態宣言中」という記載は、「2020年4月～5月頃」を指す。
	第二回緊急事態宣言	2021年1月7日より首都圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)に出された第二回目の緊急事態宣言を指す。その後2021年1月13日に栃木県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県が対象地域に加わった。

なお、結果数値(%)は、少数第二位を四捨五入(報告書内では少数第一位まで表出)しているため、合計の数字と内訳の計とが一致しない場合がある。